

後期高齢者医療制度実施直後アンケートの中間集計報告

2008年6月12日

大阪民主医療機関連合会

4月1日に施行された後期高齢者医療制度に対する不安・戸惑い・怒りが大阪においても湧き起こっています。大阪府庁周辺では、本日6月12日には「やめてんか！後期高齢者医療制度 6.12 怒りのおおさか総行動」が、大阪民主医療機関連合会や全日本年金者組合大阪府本部、全大阪と健康を守る会連合会などの呼びかけで行なわれました。

大阪民主医療機関連合会は全日本民主医療機関連合会とともに「いのちを年齢で差別する、世界に類をみない」後期高齢者医療制度の中止・撤回を求めています。施行後の影響を把握するために、「後期高齢者医療制度実施直後アンケート」を対象者に対して全国調査を行なっています。「おおさか総行動」の取り組みを受けて、本日大阪における現段階でのアンケート調査結果について概要を報告します。

〔調査の概要〕

1. 調査期間 2008年4月1日～6月10日
2. 調査対象 大阪民主医療期間連合会に加盟する病院・診療所・介護施設などの患者・利用者・共同組織(健康友の会会員や医療生活協同組合組合員)で、後期高齢者医療制度の対象となっている高齢患者・利用者
3. 調査機関 当連合会に加盟する病院・診療所・介護施設など33施設
4. 調査件数 642人

内訳 75歳以上 男性211人(32.9%) 女性413人(64.3%) 不明18名

75歳～80歳 324人(50.5%)

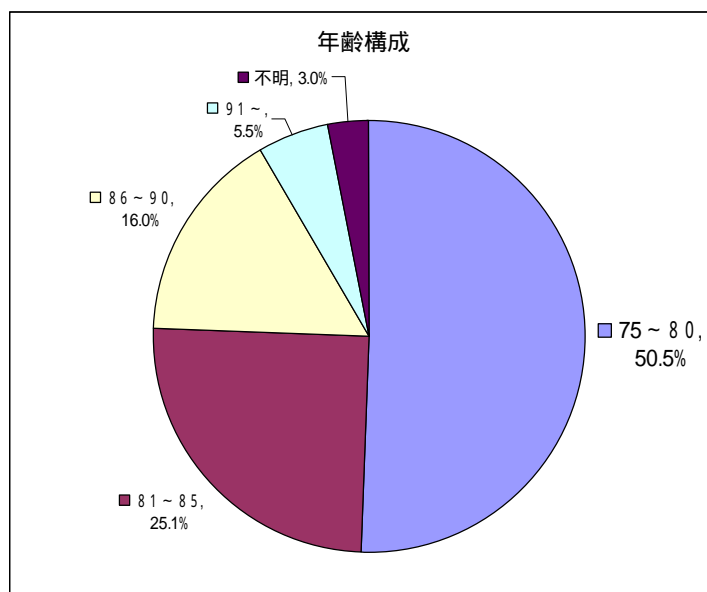
81歳～85歳 161人(25.1%)

86歳～90歳 103人(16.0%)

91歳以上 35人(5.5%)

不明 19人

5. 調査方法 基本的には「事業所での職員による聞き取り」ですが、一部「患者・利用者自宅での聞き取り」「患者・利用者が自ら記入」も含まれています。



6. 今回実施したアンケート集計の2つの特徴と評価（厚労省調査結果との違い）

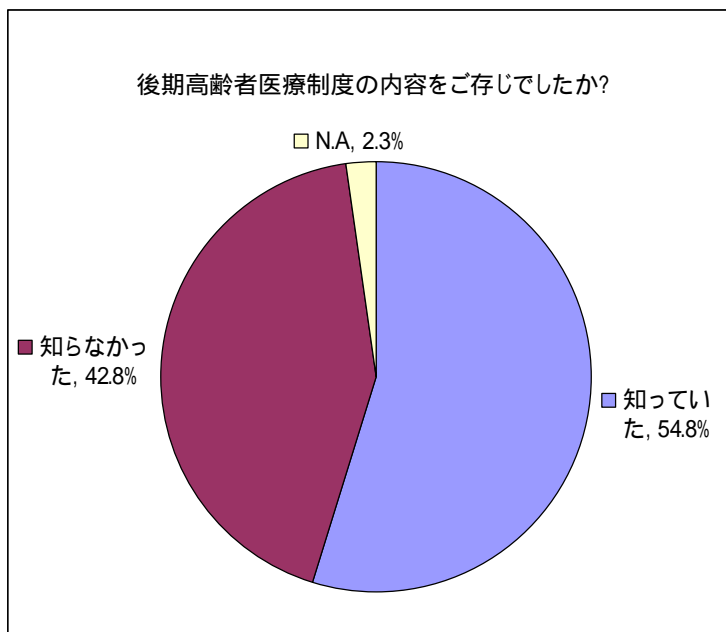
今回の私たちの調査は、階層別・収入別世帯の集計結果ではありませんが、各都道府県別の全国集計に連動した大阪での調査（大阪府内においても600件超という一定の母数の集計結果です。先日、厚生労働省から「制度の創設に伴う保険料額の変化」に関する調査結果が発表されました。この調査は、国保加入世帯の保険料の変化を4種類の世帯類型と3種類の収入区分の「12のモデル調査」となっています。この方法が、実施後の実態をつかむ方法にふさわしいかどうか疑問です。実施直後の調査で、その影響・変化を実態的につかむためには、全件調査あるいはサンプル調査の手法をとるべきです。国保世帯との比較をする場合は、国保と後期高齢者医療制度の保険料算定方法の違い・特徴（世帯単位か個人単位、「資産」の算定の有無、各自治体の減免状況など）、複雑な諸要素を踏まえ、実態を反映した手法で影響調査をすべきです。仮に、モデル世帯にもとづく調査をする場合であっても、厚生労働省調査の「4世帯モデル」だけでなく、「後期高齢者一人と子供の2人世帯」「後期高齢者夫婦世帯と子供夫婦の4人世帯」「後期高齢者夫婦と子供一人の3人世帯」など、負担増となる率の高い世帯も含めた比較も重要です。こうした方法で調査するならば、7割近い人が「軽減」される調査結果は、出るはずがありません。しかも、実施前に影響調査もせず「低所得層は軽減される」などと宣伝してきた厚生労働省の姿勢は、二重にも許せません。

実施後の影響調査・実態調査を実施するなら、複雑な諸条件を考慮し、全件調査、あるいはその実態に即したサンプル調査集計（全国規模なら少なくとも数千人規模のサンプル調査）が必要ではないでしょうか。今回の民医連調査の集計の内容と結果は、強制的に後期高齢者医療制度に移行させられた後期高齢者の生活実態に近い内容であると確信します。

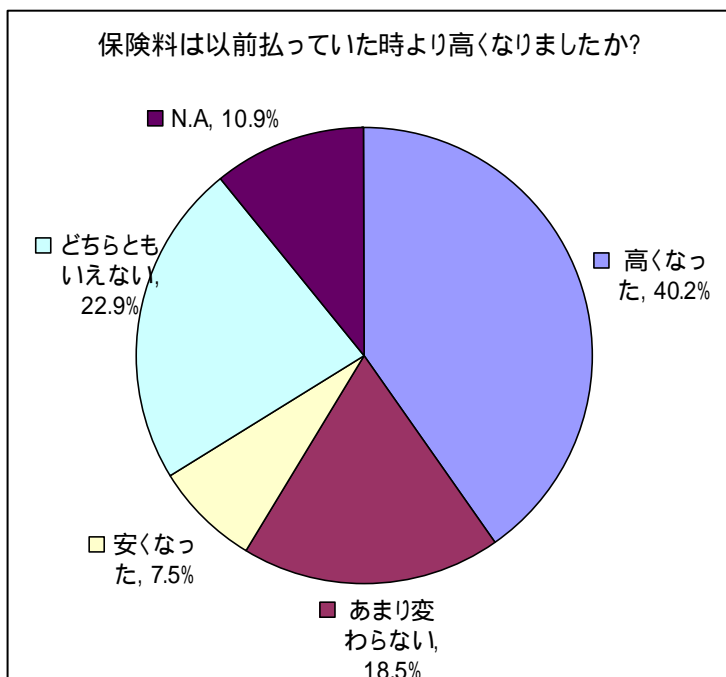
7. 調査結果の内容

「後期高齢者医療制度の内容をご存じでしたか？」との問いに対して、275人(42.8%)が「知らなかった」と答えています。

大阪府内では、制度開始前に自治体が自ら主催して住民への説明会を行なったのは当連合会が知る限り泉北郡忠岡町のみであり、政府・厚生省はもとより広域連合や自治体はその説明責任を果たしてこなかったことがこうした結果にもなっていると思われる。また、説明を聞いてもその内容が理解できず「知らなかった」という回答にもつながっているのではないかと考えられます。



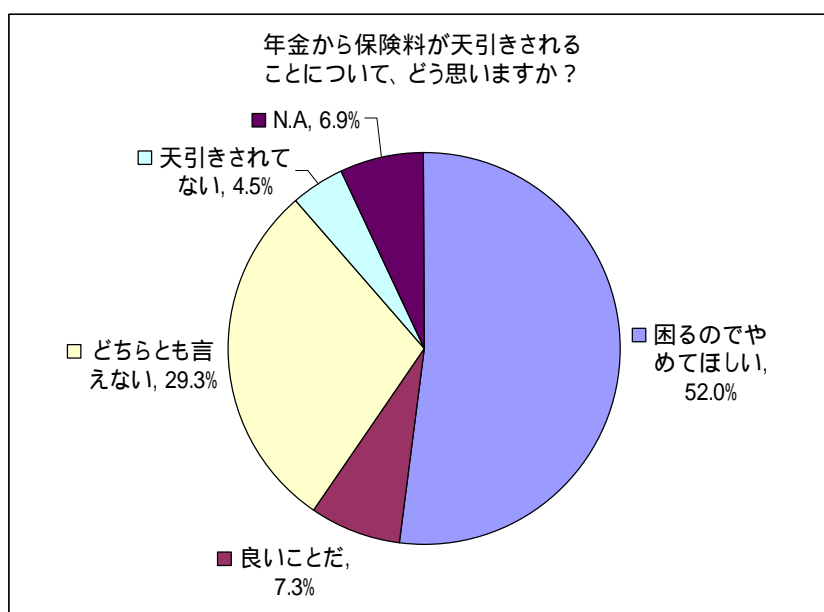
「保険料は以前払っていた時より高くなりましたか？」の問いに対して、「高くなった」が 258 人(40.2%)と約 4 割にのぼり、「安くなった」は 48 人(7.5%)にすぎない状況です。



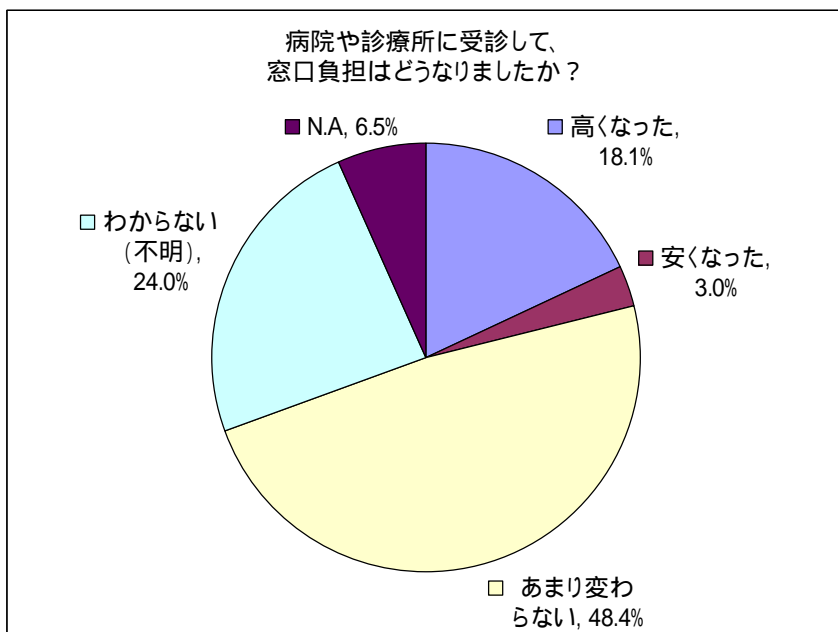
調査の開始時期との関係では、ほぼ全ての方が 4 月 15 日以降にアンケートに回答しているので、実際に送られてきた「納付通知書」や「天引き」された額を知っての実際が反映されての結果です。「保険料や窓口負担が増えて受診しづらくなった」との声にあるように、後期高齢者医療制度の実施が生活を圧迫し、今後受診抑制へつながることが懸念されます。「長寿」どころか命を縮める制度である本質がみえる訳です。

「年金から保険料が天引きされることについて、どう思いますか？」の問いに対して、「困るのでやめてほしい」が 334 人(52%)と半数を超える一方、「良いことだ」がわずか 47 人(7.3%)に過ぎない状況です。

年金天引きへの「怒り」は大きく半数以上が「やめて欲しい」と答えています。「生活費を切り詰めるを得なくなった」「保険料が天引きされるので不安」といった声に現れるように、医療への不安のみならず「生活」への不安が増幅しています。2000 年以降、介護保険料の天引き・値上がり、「控除」の縮小・廃止で住民税なども連続してアップとなり生活不安が増大する中、問答無用の年金天引きへの怒りが増大しています。



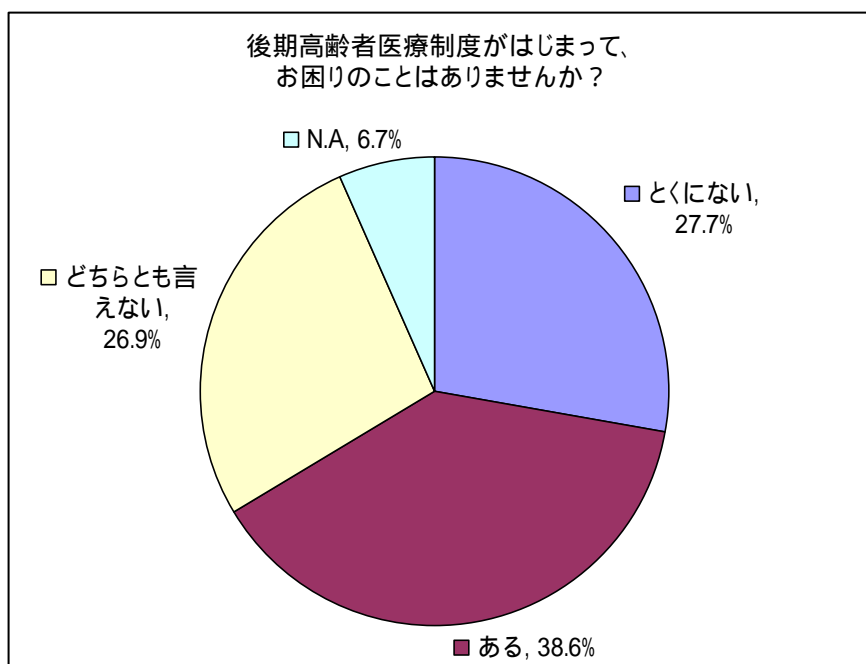
「病院や診療所に受診して、窓口負担はどうになりましたか？」の問いに対して、「高くなった」が 116 人(18.1%)であり、「あまり変わらない」が 311 人(48.4%)となっています。



後期高齢者診療料が、実際の診療現場では算定されているケースがまだ少ない中、診療内容に大きな変化がなければ窓口負担が増えていないことを示していると考えられます。

「後期高齢者医療制度が始まって、お困りのことはありませんか？」の問いに対して、「ある」が 248 人(38.6%)となっています。

多くが「保険料が高くなったことで、生活費が圧迫された」ことによるもので食費や被服費、冠婚葬祭、交際費を切りつめている例が多く、私たちがまとめた「高齢者生活実態調査」(07.3.15 報告)と同様に、食生活が悪化することによる健康破壊、交際費の切りつめによる孤立化がいっそう進行することが懸念されます。さらに、中には医療費が心配で病院に行くにくくなったり、検査を拒否した事例、介護サービスを切りつめる例も報告され、まさに医療・介護を受ける権利が制限されることも懸念されます。



8. まとめ

a) 6月4日に厚労省が発表した保険料変化の調査結果では「保険料が7割も軽減された」となっているにもかかわらず、与党プロジェクトでさらなる保険料の軽減措置を検討していることは、まったく矛盾したものであり、納得がいきません。私たちの調査結果では「保険料が安くなった」という人が1割未満であり、「高くなった」人が4割を超え、実態をよく反映していると考えます。

b) 「後期高齢者医療制度」は医療費を抑制することを目的に、国民を年齢で区別し家族を分断し、負担増もさることながら、予防・治療・リハビリ・終末期のすべてにおいて後期高齢者を差別するものであり、人間の尊厳を奪うものです。だからこそ多くの国民は怒りを爆発させており、今回の調査でも深い怒りの声が多く寄せられました。

c) 高齢者の尊厳を傷つけ、過酷な経済的負担を強要し、差別医療を押しつけるこの医療制度は、決して「長寿医療制度」などと呼べるものではありません。野党4党が「後期高齢者医療制度廃止法案」を参議院本会議で可決したことは、まさに国民の声を反映したものです。

d) 政府・厚労省はただちに後期高齢者医療制度を中止・撤回し、当事者や医療関係者の声に謙虚に耳を傾け、実態を正確に把握し、真に「長寿を喜べる」医療制度をつくり上げるべきです。

以上

後期高齢者医療制度実施直後アンケート結果

質問	項目	合計	%
調査件数	人数	642	
1.性別	男	211	32.9%
	女	413	64.3%
2.年齢	75歳～80歳	324	50.5%
	81歳～85歳	161	25.1%
	86歳～90歳	103	16.0%
	91歳～	35	5.5%
	不明	19	3.0%
3.後期高齢者医療制度の内容をご存じでしたか？	知っていた	352	54.8%
	知らなかった	275	42.8%
	N.A	15	2.3%
4.保険料は以前支払っていた時より高くなりましたか？	高くなった	258	40.2%
	あまり変わらない	119	18.5%
	安くなった	48	7.5%
	どちらともいえない	147	22.9%
	N.A	70	10.9%
5.年金から保険料が天引きされることについて、どう思いますか？	困るのでやめてほしい	334	52.0%
	良いことだ	47	7.3%
	どちらとも言えない	188	29.3%
	天引きされてない	29	4.5%
	N.A	44	6.9%
6.病院や診療所に受診して、窓口負担はどうになりましたか？	高くなった	116	18.1%
	安くなった	19	3.0%
	あまり変わらない	311	48.4%
	わからない(不明)	154	24.0%
	N.A	42	6.5%
7.後期高齢者医療制度がはじまって、お困りのことはありませんか？	とくにない	178	27.7%
	ある	248	38.6%
	どちらとも言えない	173	26.9%
	N.A	43	6.7%

後期高齢者医療制度実施直後アンケートで寄せられた意見

お困りのことはどんなことですか？お聞かせください。

- 1 ・高齢者のことを考えてほしい。
- 2 ・生活を切り詰めざるを得ない
- 3 ・制度がわかりにくい。天引きなんておかしい。
- 4 ・事前に説明がなくわかりにくい
- 5 ・出費(特に食費)を切り詰めるようになった。
- 6 ・食費を切り詰めた。
- 7 ・生活費を切り詰めざるを得なくなった。
- 8 ・保険料や窓口負担が増えて受診しづらくなった。
- 9 ・年をとり病気が長引くなら心配。
- 10 ・死ねということでしょうか。
- 11 ・年金からの天引きは盗みと一緒だ。
- 12 ・年金天引き困る。保険料負担が増えて苦しい。
- 13 ・孫の世代がどうなるか不安。
- 14 ・友人と会うことをひかえている。
- 15 ・窓口負担をなくしてほしい
- 16 ・この先どうなるかとても不安です。
- 17 ・必ず受診しなければならず、支払いが万という金額になった。どういうシステムなのか国が説明してほしい。
- 18 ・保険料が8000円くらい上がった。
- 19 ・国保から夫が分離されて高くなった。
- 20 ・保険料が3倍になり一人暮らしで生活が苦しい。
- 21 ・保険料が高くなって困る。
- 22 ・息子の扶養でよくわからない。
- 23 ・医療や健診が制限されるときいて不安に思う。こんな制度やめてほしい。今まで扶養に入っていたのを切り離すなんてひどい。
- 24 ・息子が保険料を払っているが負担が増えたようだ。
- 25 ・診療所にかかりにくくなり薬の量をへらした。
- 26 ・自殺するわけにも行かず、こんなやつたら目が覚めなければいいと毎日思います。
- 27 ・高齢で先行き不安。
- 28 ・保険料が天引きされるので不安。
- 29 ・診療内容がどうかわるか不安。
- 30 ・年金だけで食べていけない。
- 31 ・負担感のないようにしてほしい。数年しか生きられない年寄りからお金を取らないで。歯科から受診のハガキが来たが、お金がなく行ってない。
- 32 ・受診回数を減らした。
- 33 ・生活保護なので肩身が狭い。
- 34 ・儉約を考えざるを得ない。
- 35 ・年金が減る。物価も上がるのに。
- 36 ・今後保険料を払えるか不安。
- 37 ・制度の内容や仕組みがわからず不安である。
- 38 ・保険料は若干下がったが、年金収入から見れば高すぎる印象である。
- 39 ・今回初めてなのでまだよくわからない。
- 40 ・制度について詳しく知りたい。
- 41 ・高額医療はどうなるのか？
- 42 ・無年金のため自分で払わないといけない。
- 43 ・年金から引かれるのはいやだ。
- 44 ・急な制度導入で戸惑っている。
- 45 ・年金を上げてほしい。
- 46 ・絶対に保険料を引かれるので何もできなくなる。

後期高齢者医療制度実施直後アンケートで寄せられた意見

お困りのことはどんなことですか？お聞かせください。

- | | |
|----|---|
| 47 | ・天引きは家族のお金から取られないので、気を遣わなくていい。 |
| 48 | ・我慢をしている。 |
| 49 | ・本人の了解を得ないで勝手に天引きは腹が立つ。 |
| 50 | ・自分を守るのに必死だ。 |
| 51 | ・怒っている。 |
| 52 | ・説明書の子が小さく、孫に読んでもらったがわかりにくい。 |
| 53 | ・身障のため500円で通院してるがこれがなくなれば困ると思う。 |
| 54 | ・どないして生きていったらいいかわからない。 |
| 55 | ・年金が40万から32万に。二人暮らして妻はタクシーで通院しており生活のやりくりが大変。2ヶ月で8万も引かれる。 |
| 56 | ・負担が増えたので先行きが不安。 |
| 57 | ・市民税が増えて生活が大変 |
| 58 | ・これ以上増えたら生活できへん。小遣いが減った。 |
| 59 | ・いろんなことの通知がいまひとつ。役所で聞いても「お宅らが知ってることぐらいしか私もわからん」といわれた。 |
| 60 | ・健診を毎年受けていたのに受診券が届かないので受けられない。 |
| 61 | ・国保料は夫の年金から引かれていたが、自分の年金からも引かれるようになりその分値上がりした(21万 25万)気分的にいやな思いや。 |
| 62 | ・今まで週一回の注射を急に1ヶ月ほど中止しようといわれた。それまでは週1回は注射しないといかんといっていたのに。 |
| 63 | ・長生きするもんやない。どないしたら早よ死ねるやろ。生きていてもいいことない。 |
| 64 | ・生活費が圧迫され食べていくのがやっとです。 |
| 65 | ・わずかな年金から問答無用で天引き。医療、生活面でとても不安です。 |
| 66 | ・通知がないのに天引きをされたので市役所に聞いたら担当者もよくわからない。このまま払い続けるのに不安がある。 |
| 67 | ・病院でかかっているからいまのとこ不安はないが、近所の奥さんが保険料が上がって泣いてい |
| 68 | ・保険料が夫婦合わせて7万円増えた。 |
| 69 | ・娘に小遣いをもらっているのだからわかりにくいけど今までどおりでつらい思いをせず暮らしたい。 |
| 70 | ・福田政権は許さん。夫婦で年金の残額が7万から5万になった。どうやって生活するんや。 |
| 71 | ・区役所に抗議に行って書類を提出した。介護を含め1万円を超えた。 |
| 72 | ・説明がない。きいてもわからない。 |
| 73 | ・開始のときに説明をしてほしい。はっきり言ってよくわからない。 |
| 74 | ・年寄りが医療費を使いすぎてからしかたないやろ。 |
| 75 | ・奥さんの負担が増えて大変。何回も区役所に文句を言いに行っている様子。今は所得がないのに去年が高かったから保険料が大変みたい。これはおかしい。 |
| 76 | ・保険証が届かない。年金天引きは国がやっていけないなら協力するが、悪いことに使うのは許せない。この年になって必要なものしか変えず我慢している。病院でも70歳以上は寝ているだけの人は治療しないとって無理やり返された。反対しても覆らない。 |
| 77 | ・介護保険のこともあり負担は困ります。 |
| 78 | ・長生きしたくなくなった。驚沢はもともととしてないのに生活は窮屈になった。 |
| 79 | ・天引きは手間がなくていいが、夫の扶養に入っていたのに私もとられた。 |
| 80 | ・言い分はないけどこんな制度は早くなくなったほうがいい。 |
| 81 | ・年金が少しずつ少なくなっており不安。仕方がないが割り切れない思いだ。なんぼ反対しても取るだけ取りよる。食べられたらええねん。 |
| 82 | ・外出を控える。美術館や映画に行く機会が減った。 |
| 83 | ・年金は国民年金なので引かれると生活費にも困る。 |
| 84 | ・受診の際のシステムがわからず困る。 |
| 85 | ・国民年金にも入っていないので生活は苦しく病気を持っているため私も苦しい。 |
| 86 | ・自民党も困った制度をよくつくる。人通りもないところに道路をつくったりガソリン税の値上げも反対。自民党に投票する人の気が知れん。結局自分が困るのに。 |

後期高齢者医療制度実施直後アンケートで寄せられた意見

お困りのことはどんなことですか？お聞かせください。	
87	・デイケア、往診、オムツ、衣類など身の回りの節約をしなければいけない。最後は自宅で迎えたい。
88	・今までは息子の保険に入っていた。
89	・新しい保険証がきていないので役所に行こうと思っている
90	・バイクに乗っていたがガソリンが高く、自転車に乗るようになった。
91	・今の政治に怒っている、
92	・スーパーマーケットに行くと言い物したくなるのでなるべく行かないようにしている。
93	・この制度は老人を困らせている。
94	・銭湯に行く回数を減らした。
95	・服を買わない
96	・老人ホームで死にたくない。病院で死にたい。
97	・娘が管理しているので私にはわからない。
98	・健診を受けていない。
99	・息子がいるから大丈夫。
100	・郵便局に入る年金から引かれている。通帳記入に行けないのでいくら天引きされているかわからない。勝手に引かれるのは困る。
101	・薄っぺらな保険証でびっくりした。天引きで減免がない。主人が亡くなり年金が減って家賃が上がり、生活は苦しくなっていく。75歳になってこんなつらい思いをすることは思わなかった。
102	・金の管理は娘にしてもらっているが、いくら引かれているかわからない。保険料も知らない。勝手に年金から引かないでほしい。
103	・生活費が圧迫され、娯楽費を切り詰めるようになった。(6人)
104	・衣服を買うのを控えるようになった。(2人)
105	・祝い事や法事などへの出席を減らした。(2人)
106	・保険料が高くなった。
107	・外出が減った。
108	・支出を切りつめている。
109	・入浴回数を減らした。
110	・生活費が圧迫される。
111	・保険料や窓口負担が増え、受診しづらくなり受診回数を減らした。
112	・支出を減らすために食費を切りつめざるを得なくなった。(2人)
113	・衣服を買うのを控えるようになった。(2人)
114	・友人や知人とのつきあいを減らし、外出が減った。(2人)
115	・年金より天引きされるので、生活が苦しくなった。
116	・健康について非常に不安になってきた。
117	・将来について希望がなくなってきた。
118	・終末期の不安が増大した。
119	・もっともっと年寄りを大事にしてください。
120	・今までは、扶養家族で負担なしだったが、これから負担が生じる。
121	・年金からの天引きは腹が立つ。
122	・わずかな年金で生活しているので、大変困っている。
123	・夫の保険から無理やり切り離され、保険料が生じた。
124	・化粧品や衣服を買うでなし、食費を削っている。
125	・買い物、配食弁当を控えようと思っている。
126	・介護保険料も高くなり、しんどい。
127	・全般的に負担が増え、生活費が圧迫される
128	・保険料が2倍になった
129	・衣服が買えない
130	・老人でも頭はよい
131	・はっきりと内容がわからないまま始まった
132	・私が後期に、妻が国保に残って保険証が一時なくなった。届けないと保険証がもらえない

後期高齢者医療制度実施直後アンケートで寄せられた意見

お困りのことはどんなことですか？お聞かせください。

133 ・泥棒に追い銭だ

134 ・私たちはどうしようもないのか。体やお金の心配なく老後を過ごしたい。若い人に負担をかけないでほしい。

後期高齢者医療制度実施直後アンケートで寄せられた意見

	病院や診療所または行政へのご要望がありますか。ありましたらお聞かせください。
1	・年金天引きはやめてほしい
2	・後期高齢者という言葉が人格を否定されているよう。
3	・国が苦しめるから、早く死にたい。
4	・まともな議員を増やしてほしい。
5	・医療機関には年齢に関係なく必要な医療はしてほしい。行政には、今までがんばってきたのにこんな制度はおかしい。といたい。
6	・後期高齢者の医療の中身がわからない。夫の障害負担の限度額助成が使えるから安心しているが、制度の説明をもっとしてほしい。
7	・おかみのいうことにさからってもなあ。
8	・現代版「姥捨て山」と老人が思う制度はおかしい。
9	・後期高齢者という名前がいや。戦後がんばってきた、もう用はない。早く死ねといわれているみたい。
10	・天引きで2万円も上がった。腹が立って仕方ない。
11	・一番腹が立つのは健診が受けられないことや、差別や。何が平等や。75歳過ぎたら日本人とちゃうのか。
12	・自分の収入がないのに夫の収入で保険料が決まるのはおかしい。無年金の人から保険料を取るの納得いかない。これからの社会が不安だ。
13	・後期高齢者医療制度は廃止してほしい。(2人)
14	・行政は老人の状態、精神状態等研究が足りない。実態をしっかりとみて計画してもらいたい
15	・今まで、扶養家族で保険料が発生しなかったが、これから負担が生じる。保険料の二重取りはやめてほしい。
16	・少ない年金から保険料を本人に断りなく天引きされて大いに怒っている。妻と健保から無理やり切り離し、妻からも保険料を取るなど、二重取りをやめるべき。
17	・何でこんなことをするねん。
18	・今までしっかり働いたぞ、75歳過ぎて年寄りの差別か！
19	・反対するためにどこへでも行く。
20	・夫婦2人だが、妻の保険料分が上がり、世帯で見ると上がりすぎ。
21	・介護保険や後期高齢者医療やら、安い年金から天引きされるのはかなわん。
22	・黒田知事のとときはよかったなあ。
23	・病気になられへんなあ。
24	・勝手に年金から引くな。
25	・介護保険の認定調査では実情把握が困難であると思われる。
26	・看護師を増やしてほしい。
27	・保険料などくわしく説明してほしい。
28	・連絡が非常に悪い。いまだに保険料が不明。
29	・病院はがんばってくれる。このまま反対運動を続けてほしい。